

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 10

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		畜産指導者育成事業				
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名		農務係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
	氏名	石井弘道			氏名	苫米地幸二
事業の概要	地域農業の生産技術の向上や経営の安定等を図るため関係機関(農協、普及センター、役場等)が連携し、農業各担当者の専門的知識を高めるための勉強会等を開催して指導力の向上を図る。					全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円
実施方法	直営	民間委託		その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武 ~ 地域産業の振興 ~				
	基本施策	1 農業の振興				
	単位施策	3 生産技術の向上				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	千円	千円	千円	千円	千円

113

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農業関係機関担当者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	異動等により専門的技術、知識の習得が困難である。	知識の向上や課題等の検討のための会議等の開催			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	各関係機関の担当者が現状の課題に対する情報の把握とそれらに対する対応策の検討を共同で図る。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		畜産指導者会議の開催	目標年度	平成21年度	
			目標値	6回	
			実績値	7回	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	個々の農家に対する経営改善や飼育管理等の指導を行い、農業経営の安定化を図る。		達成度	116.7 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
畜産指導者会議の開催	農協、役場、普及センターの担当者が集まり、酪農に関する課題等について、話し合いを行うことにより、当地区の課題等を把握し、経営や管理指導のための知識向上を図った。				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	専門的な指導者の育成は重要であり、課題のある農業経営者等への指導を行うことにより経営改善が図られる。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	関係機関による担当者での会議等を開催し、情報の共有化や農家の指導についての検討を行った。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	事業費は掛かってない事業であり、同会議の開催時に次回開催計画を設定するなど、効率的に実施されている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	事業実施にあたり不公平感はない
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
指導者会議は計画どおり開催されており情報の共有はできているが、専門的技術、知識の習得に至っていないため、事業実施内容について検討を行う必要がある。	同左	

今後の展開方向
(Action)

継続 / 現状維持	継続 / 現状維持	
今後も継続し、実施することにより、専門的技術、知識の習得が図られ、現状の課題の対応策を実施し、酪農経営の安定が図られる。	同左	

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--